路地百選推薦書

推薦者氏名：事務局

推薦する路地（のまち）の名称	常陸太田の坂道
所在地	茨城県常陸太田市東一～三町、西一～三町

【推薦する理由（路地のよいところ)】

尾根線上の市の中心街＝鯨ヶ丘から周辺に降りていく 7 坂の内の、路地状の坂である。路地は地形に沿って曲がり、坂下からは建物と石積みの擁壁により様々な表情を見せてくれる。また、坂上からは周辺市街地の甍の波と遠くの緑の丘など、眺望が素晴らしい。特に板谷坂は、頂部が階段となっており、特徴ある景観を呈している。また、古い町家や蔵も残っている。

参考 URL　http://8tagarasu.cocolog-nifty.com/sakamitisannpo/2008/02/post_6b9c.html

なお、訪れたのは東日本大震災後の 2011.05.01 であり、多くの古い建物の屋根が破損しており、この地も被災地であった。でき得れば、古い建物を修復して欲しいが、中心市街地の疲弊が激しく、期待はできないかも知れない。

【写真添付】

板谷坂

十王坂左の郷土資料館分館が地震で被害を受けた

塙坂への路地

杉本坂

常陸太田の中心市街地の伝建群（震災で一部損壊）

路地のまちの概要	面積	約　　ｈａ	路地の延長	約　　m
	まちの成り立ち、特色等	江戸幕府により秋田に転封された佐竹氏の本貫地 。鯨ヶ丘の由来は、日本武尊が蝦夷征伐の折この地を巡った際に、この丘陵の形状が鯨が養生を漂っている様に似ていることから「久自」と名付けたことによるという。「久自」は転じて「久慈」となった。		